



ビデオレター その1 デンマークより

シャーロット・ニールセン

(2015年11月23日 HPVシンポジウム 於:東京)

こんにちは。サラといいます。15歳で、ほぼ3年間、闘病しています。
こんにちは、わたしは、サラの母です。

12歳の時には、サラは健康で、音楽とダンスをして活動的でした。
ガーダシルの2回接種後すぐに、ひどく病んでしまいました。

これは、重篤な副作用の認識を得るための戦いです。
親たちの間、ソーシャルメディア、テレビ、そして新聞の関心により、徐々に政治家や保健当局との公開討論が開かれました。

HPVワクチン被害者のグループは、スペインやデンマーク、そして最近ではアイルランドと言ったように、ヨーロッパ各地で組織されています。

今年9月までに、1800以上のデンマークの患者の副作用症例が、正式に、報告されています。
サラの場合は、デンマーク保健当局が「深刻」という分類に類別した他の何百もの一つでした。

しかし、治療法はありませんでした...

他の国の医師とのネットワークにより、妥当な検査と治療法が示されましたが、それによりサラは少し回復しました。あるデンマークの家族も同様に海外に行ってきました。

サラは、フレデリックスベルク病院の失神専門センターでPOTSと診断されました。こう診断するガイドラインはあったのですが、それ以上は、デンマークでは、ヘルプはありませんでした。

スイスの診療所は、サラを助けてくれました。彼女のスイスの医師は、HPVワクチンとサラの病状との間には明確なつながりがあると言っています。彼女は、ちょうど同じようなデンマークとドイツの患者のように、必須な物質を必要としていました。

回復は長く、複雑なプロセスです。他の家族と同じように、私たちは、コストのすべてをカバーする必要があります。

サラは、30以上の症状に苦しんでいます。

最初の接種のすぐ後、高熱と発疹がみられ、数週間、体調不良になりました。

二度目のガーダシル接種後には、突然気絶し、失神したようになりました。彼女には、めまい、

吐き気、ヒリヒリ感や灼熱感と強い筋肉痛が出てきました。
彼女は消耗しきっており、短い散歩に行くこともほとんどできませんでした。

いつも頭痛がするようになりました。すべて(MRI や CT)のスキャンは正常でした。頭痛は、2年半にわたって続きました。
重度の疲労も同様に続きました。

彼女の温度調節は、夜間の寝汗や悪寒によって乱されました。
彼女の腕と脚には、赤いストライプや小さな赤い斑点のようなものが、皮膚発疹として出てきました。口の中の傷や、歯の痛み、耳の痛み(感染はない)、そして種々の関節痛が現れました。感染のないチクチクする膀胱症状もありました。
腹部の痛み、低食欲と体重の変動は、ある期間続きました。
リラックスして落ち着いていても、彼女には息切れや突然の頻脈が起こりました。痛みでの睡眠障害もありました。

次の数ヶ月にわたりサラは、脚のけいれん、痛みを伴う筋肉のけいれんや歩行障害などの重篤な症状に襲われました。彼女は、その焼けるような足の痛みで、非常にゆっくりと約 100 メートルしか歩くことができませんでした。筋力は低下し、少しの労作でも疲れしました。

サラはグラスを持ち上げることもできませんでした。彼女の皮膚や筋肉はチョットの圧迫にも敏感で、顔にタオルを置いても痛い程でした。

サラは、シャワーに立ったり、髪を洗うこともできませんでした。
彼女は椅子に座ることさえ出来ず、リラックスチェアで食事をとっていました。彼女はそこで、ちょっと本を読んだり、音楽を聞いて、一日の大半を過ごしています。彼女が長く読めないのは、光に敏感になって、周りのノイズに疲れるからです。

その他の主な症状は、集中が出来ない、記憶の問題と、混乱がおこることです。
彼女には単語を見つけることが出来ないという問題がありました。重度の学習障害と身体的症状により、今まで、2年以上、学校に行けませんでした。
以前、彼女は社会的生活を送っていましたが、ほとんど孤立してしまいました。

彼女のスイスでの治療で、彼女の歩行機能は驚くほど改善され、活動的になりました。乗馬療法は彼女の筋力とバランスを改善しました。
音楽で、彼女の学習は助けられました。彼女は自宅でいくつかの学校の授業にも対応しています。最近サラは青少年合唱団に参加し始めました。

しかし、我々には、予後や完全回復の保証がありません。

これは、決して終わることのない悪夢です。

どうすれば、すでに被害にあった人たちの治療法を見つけることができるか、そして、どうすれば将来の犠牲者を防げるか、が目下の課題です。

